

吹田市勤労者福祉共済運営委員会（会議概要）

- 1 日 時 令和4年7月28日（木） 午前10時00分～午前11時00分
- 2 場 所 吹田市文化会館 メイシアター 1階 第1練習室
- 3 出席者 安藤委員・井上委員・植田委員・岸原委員・小島委員・土橋委員
松下委員・岩井委員・矢野委員・嵯峨委員・蜷川委員
- 欠席者 山口委員
- 事務局 井田部長・橋本次長・萩原参事・西田主幹・草部主任
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 議題 (1) 令和3年度（2021年度）吹田市勤労者福祉共済事業報告
(2) 掛金納付に係る口座振替の導入に関するアンケート結果について

開会の挨拶。

会長より挨拶。以降、会長が進行。

委員の半数以上の出席があるため委員会は成立。傍聴申請はなし。

資料の確認。

資料1 令和3年度（2021年度）吹田市勤労者福祉共済事業報告

資料2 令和3年度（2021年度）新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受けた福利事業

資料3 掛金納付に係る口座振替の導入に関するアンケート結果について

◆資料1 令和3年度（2021年度）吹田市勤労者福祉共済事業報告について説明。

◆資料2 令和3年度（2021年度）新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受けた福利事業について説明。

委員：令和3年度の収支決算状況について、市からの繰入金が入件費に充てられているが、これは市からの補助的な繰入金を人件費に充当して全額消費し、余剰金は発生しないということか。また、前年度からの繰越金は全額基金に積み立てるのか。

>市からの繰入金は全額人件費に充て、余剰金は発生しない。また、繰越金は基金に全額積み立てる。

委員：令和3年度の福利事業のイベントについて、バレエ「ドン・キホーテ」と明石海峡大橋クルーズのバスツアーはどちらもコロナで開催中止となっているが、バレエは当選者数8で、バスツアーは当選者数0になっているのはなぜか。

>バレエは当選者数が決定してから中止となり、バスツアーは当選者が決定する前に中止となったため書きぶりが異なっている。

委員：貸付基金について、過去に貸付の実績はあったのか。

>令和元年度までは年に1件あるかないかという状況であったが、回収不能となった債権を令和元年度に不能欠損処理しており、それ以降は貸付の実績はない。ただ、ご相談いただいた結果、要件を満たしておらず貸付に至らなかったケースは何件かあった。

会長：金利が高いので、借り手がいないのではないかと思う。

委員：貸付の審査は厳しいのか。

>代表者が保証人にならなければならないなど一定の要件がある。厚生資金及び結婚資金は利率が6%と高めになっていることもあり、最近の実績がないのかもしれない。

会長：代表者が保証人になっても、会社がなくなると回収できなくなるリスクもあると思う。

委員：廃止はできないのか。

>貸付基金は市の条例で定められており、改廃には議会の承認が必要となるためすぐ

に廃止できるものではないが、今後の検討課題であると考えている。

会長：世間の利率が高かった時代は、6%でも借り手がいたのかもしれない。

委員：この利率は、市の他部局とすり合わせをして決めているのか。

>確認はしていないが、恐らく他と整合性をとる作業はしてない。設定当初に他市の福祉共済と利率を合わせていると思われる。

委員：他部局と連動していないのであれば、利率を変えることは可能だと思う。

会長：では、検討課題として、金利の問題と廃止も含めたあり方について考えてほしい。

>検討する際はアンケートを実施することになると思う。その時はご協力願いたい。

会長：アンケートをすれば利用したい人はいるかもしれない。

委員：議会の承認がある案件であり、一旦廃止すると復活は難しいので慎重に。

会長：金利を含めて検討してほしい。

委員：会員数が令和3年度に2社増えているが、その2社が加入したきっかけは何か。また、今後の加入促進についてどう考えているか。

>2社のうち1社の加入動機は不明だが、もう1社は既存の加入者からのご紹介。今後は定期的に市報に掲載したり、地域経済振興室の他グループで市内の企業へ回る際に、加入のご案内をするなどして加入者数を増やしたい。

会長：令和3年度の福利事業のイベントで、オンラインツアー沖縄農家体験とあるが、これはどういったものか。

>さとうきびづくりをオンラインで体験するというもので、事前に体験キットを当選者に送付し、当日はオンラインにて農家の方と一緒にさとうきびをつくる。コロナ禍に合わせたイベントとして導入したが、あまり人気がなかった。

会長：今年の市民プールの招待券はどうなっているか。

>今年は既に共済にゆーすに掲載し、入場券を全被共済者に配布している。

会長：基金の剰余金が多くなってきているが、お金が余ってきているのか。

>コロナもあり少し増えてきている。基金は、仮にこの事業が終了した場合の全被共済者へ支給する退会せん別金に5、6千万円必要である。また、5年に1度の周年事業で被共済者へ還元する機会があるので、その際に1人あたりの還元金額を調整しながら運用していきたいと考えている。

会長：基金の積立額が多くなると掛金の問題が発生してくると思うが、下げると上げにくいので、そのあたりは経過をみながら慎重に判断する必要がある。

委員：家庭用常備薬について、今年度は500円補助があると思うが、併せて抗原検査キットなどコロナ禍に合わせた商品ラインナップがあればもう少し使いやすと思う。

>家庭用常備薬は9月頃の共済にゆーすで実施しようと考えている。抗原検査キット等については今後白石薬品と相談する。

◆資料3 掛金納付に係る口座振替の導入に関するアンケート結果について説明。

委員：システム改修費は、市からいくらか補助を出せるのか。

>現状では積立金の中から支出する想定であるが、市が一部もしくは全額負担可能なのかについては、財政との協議が必要である。ただ、導入するにあたっては、本当に会員の皆様が必要とされているのかどうかポイントになると思う。今回のアンケートではどちらとも言いづらい結果となっているが、今後大勢として導入に賛成だが、基金からの支出には賛同できないというような状況になれば、市の公金導入について財政部門と協議は必要になると考えている。

会長：口座振替を導入すると事務局の負担は減るのか。

>口座振替を導入しても納付書払いは継続していくので両方の管理が必要になる。また、口座振替を導入した場合は、毎月の伝送データの作成や、各事業所への引き落とし金額の通知作業などが発生するため、事務局の作業が減るわけではない。

会長：今回のアンケートでは、導入するという確固たる根拠が得られていないと思う。

委員：今回のアンケートでは、現在のコストとの比較が出ていないこともあり、こういった結果になっていると思う。最大の問題は、回答数が94件と半分以下であること。この結果でも進めるとするのは私も難しいと思うので、もう少し時間をかけて検討すべき問題だと思う。

委員：口座振替導入に賛成の立場から意見をさせていただくと、現状を不便だと感じている。例えば、ゆうちょ銀行で支払えるようにしたり、銀行振込も検討していただきたい。システム改修までしなくても、支払い方法の選択肢を増やすことができるのではないかなと思うので、そういった検討もしてほしい。全体としては、アンケートがこのような結果なので、強引に進めていくのは難しいかと思う。

>ゆうちょ銀行を含め利用可能な金融機関を増やしたいが、公金なのでどうしても市全体で統一した取り扱いになる。ただ、課題として検討はしたい。銀行振込については、現状市全体として禁止されている。仮に銀行振込を可能にした場合、1日あたり数万件の振込がある中で突合作業が困難である。

会長：払い込みの選択肢を増やせばいいが、事務方の作業量が増えるのであればどうかなと思う。お金の問題もあるのですぐに決めるのは難しいと感じる。最終的に決めなければいけない期限はあるのか。

>特に期限はない。加入者の意見を聞いたうえで進めることが重要だと考えているので、継続審議ということで、引き続き検討していく。

部長より閉会の挨拶。

以上